

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7637）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク加盟推進事業	12,957	2,850	10,107				12,957	
トータルコスト	17,100千円（前年度 6,656千円）							
従事する職員数	正職員：0.5人							
主な業務内容	負担金、補助金交付事務、県内学術分会の運営、ジオツアーの実績づくりに関する事業、普及・啓発事業の実施							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>山陰海岸国立公園を中心としたエリアの世界ジオパークネットワーク加盟に向けて、関係自治体、民間団体等が中心となり設立した「山陰海岸ジオパーク推進協議会」に対し、負担金を交付し、連携して事業を行っていく。</p> <p>また、県内学術部会の運営、ジオツアーの実績づくり、県内機運醸成のため、鳥取市、岩美町と連携した普及・啓発活動等を行い、平成22年中の世界ジオパークネットワーク加盟を目指す。</p> <p>2 平成21年度事業費</p> <p>(1) 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 1,786千円 協議会で実施する主な事業（予算額11,581千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク推進フォーラムの開催（京都府京丹後市開催）</li> <li>・ジオガイドブック（外国語版）の作成</li> <li>・ボランティアガイド養成講座の実施</li> <li>・ジオパーク検定の実施 など</li> </ul> <p>(2) 学術部門の強化に要する経費 1,364千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術関係鳥取分会運営経費</li> </ul> <p>(3) ジオツアーの実績づくりに要する経費 2,580千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルツアーの実施</li> <li>・小・中学校での地質観察会実施に対する支援</li> <li>・鳥取・兵庫両県によるジオ学習ツアーの開催に対する支援（定額補助：50万円上限）</li> </ul> <p>(4) 受入態勢の整備に要する経費 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク案内板整備補助金（市町村、団体等が行う看板整備に対し1/2補助）</li> </ul> <p>(5) 県内の機運醸成に要する経費等 2,227千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの開催、ラッピングバス運行、チラシの作成</li> </ul> <p>(参考)</p> <p>1 世界ジオパークネットワークとは</p> <p>◇ジオパークは、地質遺産を含む一種の自然公園で、地質遺産を保護し研究に活用するとともに、教育や地域の振興に活かすことが目的。</p> <p>◇ユネスコの支援により、2004年に世界ジオパークネットワーク（事務局：ユネスコの生態・地球科学部門）が設立。（現在、中国、ヨーロッパを中心に57カ所が加盟。日本では、平成20年度に3地域が初めて加盟に向けた申請書を提出。）</p> <p>2 加盟によるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地質遺産としての質の高さが保証される。</li> <li>・世界的な知名度が高まる。</li> </ul> <p>3 山陰海岸ジオパーク推進協議会の概要等</p> <p>◇役員：会長 中貝 宗治（豊岡市長） 副会長 竹内 功（鳥取市長）、中山 泰（京丹後市長） 幹事長 馬場 雅人（新温泉町長）</p> <p>◇設立：平成19年7月16日</p> <p>◇構成員：行政、商工団体、観光団体、漁協、遊漁船会社等36団体</p> <p>*行政は、3府県（京都府、兵庫県、鳥取県）、3市3町（京丹後市、豊岡市、新温泉町、香美町、鳥取市、岩美町）が参加。</p> <p>◇山陰海岸は「日本ジオパーク」に認定される。（平成20年12月）</p>								